資料 3

令 和 ８ 年 １ ０ 月 １ ５ 日
都市整備部まちづくり調整担当

区役所エリアに係るＶＲコンテンツについて

区役所エリアについて、まちの将来像やまちづくりの検討内容などを「見える化」するため、今年度、３Ｄ都市モデルを活用したＶＲ（バーチャルリアリティ）コンテンツを作成することとなっている。

現在、区役所エリアの現況について、ＶＲによる再現を進めているところである。

１　区役所エリアの現況再現の状況（ＶＲ静止画の例）

Ａ：四ツ目通りからの区役所見上げ



Ｂ：コミュニティ道路区役所スロープ前




C：コミュニティ道路文化センター前
江東区文化センター


D：北側区道


E：コミュニティ道路





２　ＶＲコンテンツの主な特徴

⑴　区役所エリア及び隣接する建物等を３Ｄ空間上に再現
⑵　鳥瞰視点や歩行者視点など、様々な視点から閲覧が可能
⑶　建物や樹木などのオブジェクトごとの表示・編集が可能
⑷　ＶＲ制作受託者所有の特殊な立体映像投影装置を活用した立体視体験が可能

３　区役所エリアにおける活用

歩行者ネットワークの不足や水害リスクなど、区役所エリアにおける課題の解決に向けたまちづくり検討パターンのイメージ等を作成し、今年度区役所エリア地権者協議会において将来像の共有を図る。

４　今後の活用について

ＶＲコンテンツについては、区役所エリアにおける活用実績から、合意形成など、まちづくりへの効果を確認し、今後の活用を検討していく。